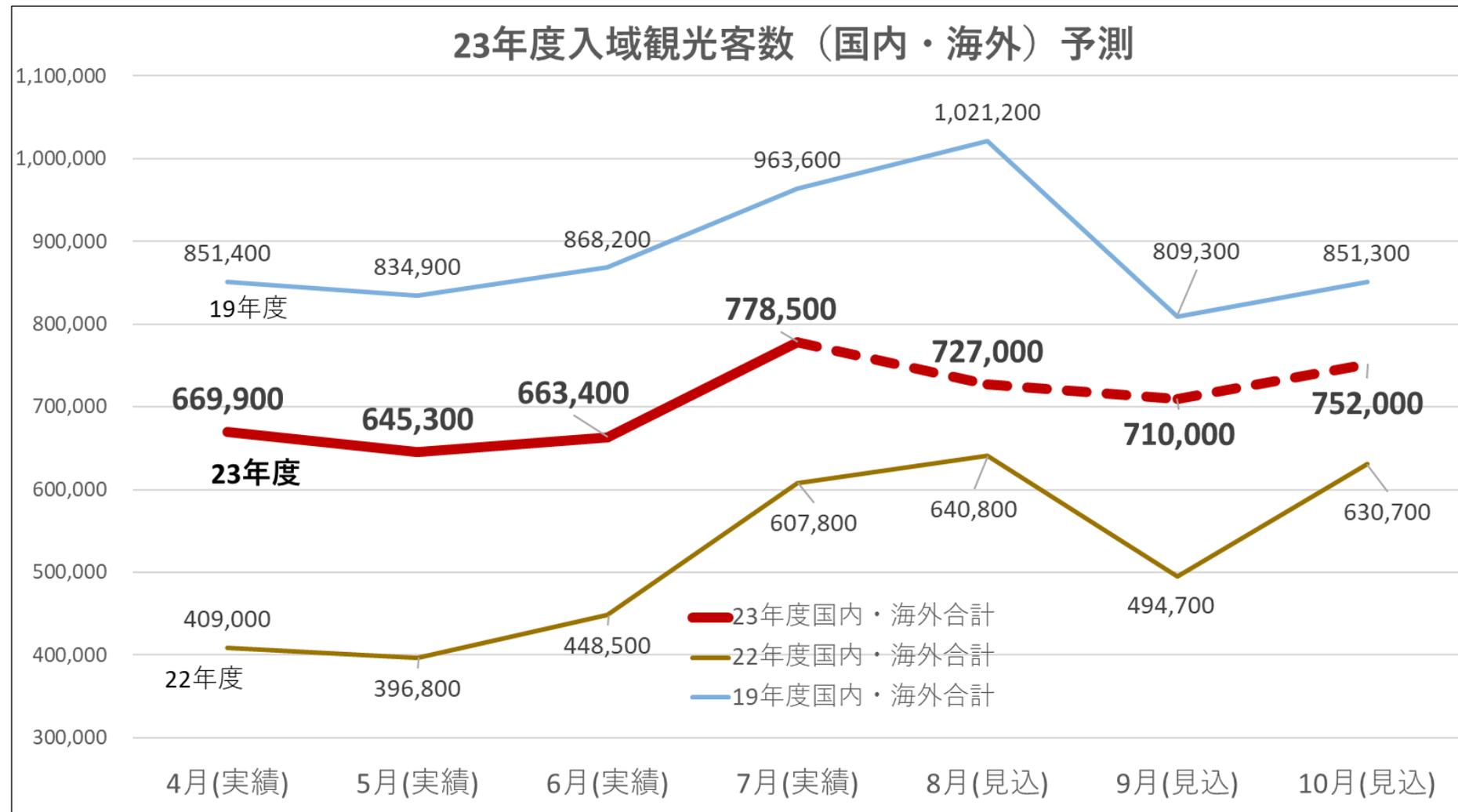


## 1. 23年度4月-7月入域観光客数実績および8月-10月見通しについて

	4月(実績)	5月(実績)	6月(実績)	7月(実績)	8月(見込)	9月(見込)	4-9月計	10月(見込)
23年度国内(空路)	601,700	564,200	577,300	654,900	640,000	600,000	3,638,100	630,000
23年度国内(海路)	1,400	11,100	8,400	8,700	2,000	2,000	33,600	12,000
23年度海外(空路)	60,300	63,400	68,100	80,000	65,000	80,000	416,800	80,000
23年度海外(海路)	6,500	6,600	9,600	34,900	20,000	28,000	105,600	30,000
<b>23年度国内・海外合計</b>	<b>669,900</b>	<b>645,300</b>	<b>663,400</b>	<b>778,500</b>	<b>727,000</b>	<b>710,000</b>	<b>4,194,100</b>	<b>752,000</b>
22年度対比(国内・海外)	163.8%	162.6%	147.9%	128.1%	113.5%	143.5%	139.9%	119.2%
19年度対比(国内・海外)	78.7%	77.3%	76.4%	80.8%	71.2%	87.7%	78.4%	88.3%

※海路については沖縄の各港で予定されているクルーズ船が全て寄港した場合を想定して算出



## 1. 23年度4月～7月入域観光客数実績および8月～10月見通しについて

### (概況)

国内入域についてはFIBAバスケットボールワールドカップ等の開催など、各種イベントの通常開催により旅行需要は引き続き好調に推移すると見込まれるが、8月に関しては台風6、7号の影響で当初見込みより大幅に減少する見込み。

海外入域については、空路は運航再開している路線(台北、韓国仁川、上海、香港)については予約が堅調に推移している。9月以降は北京線も運航再開するが、全体の運航便数はコロナ前の5割程度の水準に留まっている。海路は、9月以降も引き続き台湾や中国(上海・厦門・香港)などから海外発クルーズ船入港が予定されているが、入域客数はコロナ前の3割弱の水準となる見通し。

### (詳細)

・8月 :【国内】(空路)夏休み需要やFIBAバスケットワールドカップ開催の他、宮古・石垣を含む東京・大阪発沖縄線の高需要が見込まれるが、初旬の台風6号の影響が大きく、加えて台風7号の影響も出たことから当初見込みより大幅に下がり64万人(19年8月対比87.0%)と見込む。  
(海路)横浜港から1回入港予定。入域客数は0.2万人(19年8月対比83.3%)となる見通し。

【海外】(空路)仁川那覇線の増便(ジンエアー:7月21日～8月27日)やバティックエアーマレーシアのクアラルンプール線就航(週4便:8月16日～)があったが、台風6号の影響により入域客数は6.5万人(19年8月対比43.3%)となる見通し。  
(海路)台湾(基隆)6回入港予定。入域客数は2万人(19年8月対比15.0%)となる見通し。

・9月 :【国内】(空路)コロナ前とほぼ同水準の60万人(19年9月対比101.8%)と見込む。宮古・石垣を含む東京・大阪発沖縄線の需要が高い。  
(海路)神戸港1回、横浜港1回、計2回入港予定。入域客数は0.2万人(19年9月対比153.8%)となる見通し。

【海外】(空路)8日以降の吉祥航空の上海線運航再開(デイリー運航)、および17日以降の中国国際航空の北京線運航再開(木・日週2便)により、入域客数は8万人(19年9月対比66.2%)となる見通し。  
(海路)台湾(基隆、高雄)6回、中国(上海)3回、の計9回入港予定。入域客数は2.8万人(19年9月対比28.6%)となる見通し。

・10月 :【国内】(空路)コロナ前とほぼ同水準の63万人(19年10月対比102.4%)と見込む。  
(海路)横浜港などから合計4回入港予定。入域客数は1.2万人(19年10月対比214.3%)となる見通し。

【海外】(空路)入域客数は8万人(19年10月対比65.0%)となる見通し。  
(海路)台湾(高雄)2回、中国(上海、厦門、香港)10回、その他2回の合計14回入港予定。  
入域客数は3万人(19年10月対比27.9%)となる見通し。

## 23年度4月-6月県内ホテル客室単価実績および7月-9月見通しについて

ホテル区分	実績(1客室あたりの単価)						見通し(1客室あたりの単価)					
	4月	前年比	5月	前年比	6月	前年比	7月	前年比	8月	前年比	9月	前年比
本島リゾート	¥25,206	108.2%	¥32,374	107.5%	¥28,106	119.8%	¥40,993	122.0%	¥53,614	117.4%	¥31,893	121.0%
離島リゾート	¥26,473	120.5%	¥33,100	124.8%	¥28,586	138.7%	¥34,787	110.9%	¥51,546	115.7%	¥27,317	105.5%
シティホテル	¥13,875	134.0%	¥14,888	125.4%	¥14,574	149.0%	¥16,555	136.2%	¥19,167	133.7%	¥15,782	140.3%

(OCVB独自調査) ※上記ホテル客室単価実績および見通しについては、OCVBがヒアリングした約330のホテルの平均値

## (概況)

・コロナが5類に移行し、旅行マインドが堅調であったこと、物価高等の要因により、4月～6月の県内ホテル客室単価実績については、上表の通り、前年度比で大きく伸びている。

7月から8月の見通しについても、旅行目的地として沖縄が人気ということもあり、需要の伸びが顕著であることにより各ホテル区分ごとの客室単価については前年を大きく超える水準で推移する見込み。

今後も高単価のラグジュアリーホテルの開業が増えていること、引き続き需要が旺盛な状況が見込まれることから、高単価で推移することが見込まれる一方で、人材不足による稼働への影響、物価高・原油高によるコスト増の影響等、課題も懸念される。

(県内ホテルや旅行会社、OTAへのヒアリングによるOCVB独自調査)

令和5年8月31日(木)

## 3年ぶり！北京-那覇路線の再開および上海路線の拡充について ～空港にて歓迎のお出迎えを実施します～

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎）は、2020年の運休以来、3年ぶりとなる北京と那覇を結ぶ直行便の再開、および上海と那覇を結ぶ路線の拡充を記念し、各初便の到着時間に合わせて空港でのお出迎えを実施いたします。今回、2社の運航再開により、国際線の就航社数は6路線16社となり、2019年1月時点の20路線21社と比較すると路線で30%、就航社数で約76%の回復率となります。

### 1. 北京⇄那覇（路線再開）

運航：中国国際航空

日時：令和5年9月17日（日）17:00 到着

場所：那覇空港 国際線ターミナル到着ロビー

内容：パンフレット及びノベルティ配布、横断幕掲出、花笠マハエちゃん派遣

中国国際航空 北京⇄那覇 定期便の概要	
就航再開日	令和5年9月17日（日）
運航日	1日1往復 週2便（木・日）
運航スケジュール （現地時刻）	(CA831) 北京 12:30 発 → 那覇 17:00 着
	(CA831) 那覇 18:00 発 → 北京 20:45 着
座席数	158席（ビジネスクラス12席、エコノミー146席）

### 2. 上海⇄那覇（路線拡充）

運航：上海吉祥航空

日時：令和5年9月8日（金）18:00 到着

場所：那覇空港 国際線ターミナル到着ロビー

内容：パンフレット及びノベルティ配布、横断幕掲出、花笠マハエちゃん派遣

上海吉祥航空 上海⇄那覇 定期便の概要	
就航再開日	令和5年9月8日（金）
運航日	1日1往復 週7便（毎日）
運航スケジュール （現地時刻）	(H01331) 上海 15:00 発 → 那覇 18:00 着
	(H01332) 那覇 19:00 発 → 上海 20:20 着
座席数	164席（ビジネス8席、エコノミー156席）

#### 【お問い合わせ先】

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー  
海外・MICE事業部 海外プロモーション課  
担当：北川、恩田  
TEL:098-859-6127 FAX:098-859-6221  
Mail:global\_pr@ocvb.or.jp

令和5年8月31日（木）

## 台風6号における被害状況調査について ～アンケート調査中間報告～

去った7月下旬から8月上旬の数日間にわたり、沖縄本島周辺に滞留した台風6号は航空便の欠航等により30万人以上の人々の移動に影響を与え、長期に渡る延泊を余儀なくされた観光客も多数発生しました。

また、多くの観光事業者においても停電や断水による事業活動の停止、建物の損壊等が発生したとともに、観光客の予約キャンセル増大による利益喪失が発生するなど、これまでにない多大な影響を受けているものと思慮しております。

このような状況に鑑み、OCVBが各観光事業者の被害の実態を把握することにより、県等との関係機関と連携しながら今後の観光危機管理対策の強化を図り、災害に強い沖縄観光を目指していくことを目的として、下記の通り被害状況調査を実施しております。

現在、調査期間中のため、まだご回答いただけていない団体についても、継続して呼びかけてまいります。

### 記

目的： 台風6号における各観光事業者の影響実態の把握。アンケート結果により、観光危機管理に必要な要素を把握し対策等の検討を行う。

調査対象： 約2,500団体

- (1) OCVB賛助会員（約650社）
- (2) 沖縄ツーリズム産業団体（35団体）
- (3) 令和3年度おきなわ宿泊事業者感染防止対策支援事業の支援企業（約1,800社）

調査期間： 8月21日（月）～9月15日（金）17:00

主な調査項目： (1) 基本情報（企業名・連絡先等）

- (2) インフラについて（停電、断水、建物損壊の状況等）
- (3) 営業状況について（営業停止日数、原因等）
- (4) 被害額について（インフラ被害、キャンセル損害等）
- (5) 宿泊者について（延泊日数、食事提供の可否等）

※詳細は別添資料をご参照ください。

回答数状況：270件（8月30日時点）

主な回答状況：(1) 物的被害やインフラ被害あり

145事業者／270事業者中

(2) 停電被害あり

168事業者／270事業者中

(3) 断水被害あり

21事業者／270事業者中

(4) キャンセル等による利益喪失あり

205事業者／270事業者中

(5) キャンセル等で想定されるおおよその被害額（収入があった場合、相殺）最大約1億1,500万円／最小5万円

【お問い合わせ先】

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー 企画・施設事業部 企画課

担当：城間・中山 TEL:098-859-6126 FAX:298-859-2981

Mail:kikikanri@ocvb.or.jp

台風6号被害状況に関する質問事項

大項目	質問	回答										
【全体への質問】												
基本情報	回答企業・団体名	記入回答										
	業態区分 *主なもの一つをお選びください	宿泊施設	観光施設	旅行業	観光協会・DMO	交通	各種団体	各種団体	その他			
	記入担当者所属・氏名	記入回答										
	連絡先 (TEL)	記入回答										
	連絡先 (メール)	記入回答										
インフラについて	当該施設は停電被害を受けましたか (以下、した場合)	停電被害を受けた	停電被害を受けなかった									
	どれくらい停電しましたか	瞬断	数時間	半日	1日	2日	3日	4日以上				
	停電で何か対応ができたことはありますか	自家発電で対応できた	自家発電で賄えなかった	自家発電はなく電気が通るまで待った					その他			
	停電で困ったことはありましたか	自由記述										
	取引業者の停電等で困ったことはありましたか	自由記述										
	断水はありましたか (以下、あった場合)	あった	なかった									
	断水時に対応できたことはありますか (あった場合) 具体的な対応を教えてください	あった(記述)	なかった									
	どれくらい断水しましたか	数時間	半日	1日	2日	3日	4日以上					
	建物・設備の破損等ありましたか (以下、あった場合)	あった	なかった									
	破損内容について教えてください(複数回答可能)	浸水	建物の一部損壊	配線等の破損	その他(記述)							
	営業状況について	台風期間中(7/31-8/7) 営業できなかった日を教えてください(複数回答可能)	7月31日	8月1日	8月2日	8月3日	8月4日	8月5日	8月6日	8月7日		
		営業できなかった原因は何ですか(複数回答)	従業員が出勤できなかった	停電があった	断水があった	従業員の安全確保のため			浸水があった	その他(記述)		
		営業状況等についてどのように情報発信しましたか	WebSite	Twitter	Facebook	Insta	その他SNS	発信していない	発信できない			
	現在の状況	営業は再開できていますか (以下、休業中の場合)	通常営業	休業中	一部営業							
復旧再開のメドをお聞かせください		自由記述										
被害状況について		予約のキャンセル、休業による損失はありましたか(個人・団体別)	記入回答									
被害額について	物的被害やインフラ被害はありましたか(複数回答可能)	施設・設備破損	停電があった	断水があった	物資調達ができなかった							その他
	インフラの破損等で想定されるおおよその被害額を教えてください	記入回答										
対応事例について	機会損失で想定されるおおよその被害額を教えてください(収入があった場合相殺ください)	記入回答										
	お客様からの台風6号に関するご意見はありましたか	自由記述										
	何か特別対応を行いましたか	延長料金を免除した	キャンセル料を免除した	その他								
BCP(事業継続計画)策定状況について	お客様から台風6号に関する対応について感謝されたことはありましたか	自由記述										
	BCPを策定していますか (以下、策定している場合)	している	していない	BCP(事業継続計画)とは、企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。								
	策定している企業・団体について、今回既存のBCP計画に沿って取組めましたか。	できた	できなかった									
	今回の台風対応をふまえ、BCP計画に新たに盛り込むべき/修正すべきと気づいた点はありますか。	自由記述										
対応への課題	今回の経験を踏まえて課題(反省点)はありますか、またその課題を踏まえBCP計画の検討はできますか。	自由記述										
その他	お客様対応で気づいた点があればご記入ください	自由記述										
	今回の災害を受け、行政に希望することはありますか	自由記述										
【宿泊施設への質問】												
宿泊者について	営業エリアを教えてください	本島北部	本島中部	本島南部	本島周辺離島	久米島	宮古諸島	八重山諸島	その他			
	営業カテゴリーを教えてください	ホテル	民宿・ゲストハウス	コンドミニアム・中長期滞在型								
	延泊の希望について (以下、あった場合)	あった	なかった									
	延泊の受入について(最長日数) *複数回答	1日	2日	3日	4日以上	その他(記述)						
	延泊の受入について(延べ人数)	人										
	台風の状況の把握に関して参考にした情報はありますか	テレビ	ラジオ	おきなわ物語WebSite	Twitter	沖縄観光 台風情報	Twitter	その他	那覇空港WebSite	WebSiteその他		
	今回よく利用した情報入手ツールがあれば教えてください	自由記述										
	施設内で観光客に情報提供しましたか (以下、した場合)	した	しなかった									
	どのような方法で提供しましたか(複数回答)	館内モニターへの投影	フロントの掲示物等	客室のTVモニターへの投影			フロント対応	その他(記述)				
	どのような内容を提供しましたか	自由記述										
	飲食の提供はできましたか。できなかった場合、原因を教えてください。	できた	できなかった(自由記述)									
	対応に苦慮した問い合わせはありましたか	自由記述										
	宿泊者への満足度向上のため、緊急的に対応したサービスを行っていたら教えてください	自由記述										
	多言語での案内はしましたか(した場合は言語も教えてください)	自由記述										
おきなわ多言語コンタクトセンターを利用または案内をしましたか	した	していない	存在を知らない									
今回の災害を受け、行政に希望することはありますか	自由記述											

令和5年8月31日（木）

## 「令和5年度 沖縄修学旅行相談会 in 東京」を開催しました ～県内20団体が一丸となり沖縄修学旅行の魅力を発信！～

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下 OCVB）は、沖縄県から「令和5年度教育旅行推進強化事業」を受託しており、この度、修学旅行プロモーション事業の一環で「令和5年度 沖縄修学旅行相談会 in 東京」を開催いたしました。

本相談会には、学校関係者、旅行会社など約90名が参加し、航空会社や模擬体験実施校によるプレゼンテーションや、県内20団体による最新の情報発信等を行いました。

学校関係者による修学旅行予定地の現地視察を沖縄県・OCVBが支援する「模擬体験提供事業」を活用し、実際に宮古島への修学旅行が決定した豊島区立千登世橋中学校の小林豊茂校長からは「修学旅行の目的や本質を改めて見直し、新しい修学旅行を検討中に沖縄修学旅行模擬体験提供事業に出会ったことは、都会で学べない宮古島でのSDGs学習を考える絶好の機会になった。ぜひ他校にも前例にとらわれず新たな修学旅行にチャレンジしてほしい」と来場者に向け呼びかけいただきました。

また、参加者からは「これまで100回近く沖縄に行っているが新たな発見があった（旅行会社）」「具体的な行程などの相談ができて良かった（学校）」という声をいただきました。

引き続き沖縄県・OCVBでは、県内の修学旅行受入機関との連携を強化し、学習効果や受入環境等沖縄修学旅行の魅力を発信することで本県への誘致を図ってまいります。

### 記

- 【名称】令和5年度 沖縄修学旅行相談会 in 東京
- 【日時】令和5年8月24日（木）10：00～12：00 / 15：00～18：00
- 【場所】大手町サンケイプラザ 301～304号室
- 【主催】沖縄県・OCVB
- 【出展者】沖縄県内各地域観光協会及び修学旅行関連事業者 20社/団体（20ブース）
- 【来場者】県外学校関係者、教育関係機関、航空会社、旅行会社等90名
- 【内容】個別相談会、プレゼンテーション（主催者・出展者・航空会社）  
沖縄修学旅行モニターツアー体験事例発表

【当日の様子】



＜参考：令和5年度（令和5年4月～令和6年3月）の修学旅行見込入れ込み数＞

※8月10日時点、旅行社15社中9社からの回答により推計（OCVB調査）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
校数	116	287	164	22	4	41	216	360	268	80	87	59	1,804
人数	15,243	37,367	26,995	2,747	165	7,047	65,380	80,412	50,481	14,760	16,490	11,339	328,426

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 受入推進課

担当：屋宜、西表、多和田

TEL:098-859-9129 FAX:098-859-6221

Mail:shuryo@ocvb.or.jp

令和5年8月31日（木）

## 修学旅行の調査・研究機関2団体と 沖縄修学旅行に関する意見交換会を行いました

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下 OCVB）は、沖縄県から「令和5年度教育旅行推進強化事業」を受託しており、沖縄への安定的な修学旅行需要の確保及び受入体制の強化を行っております。

去る8月24日に、全国の修学旅行の調査・研究等を行っている（公財）日本修学旅行協会（以下、日修協）ならびに（公財）全国修学旅行研究協会（以下、全修協）と、今後の沖縄修学旅行に関する意見交換会を行いました。

新型コロナの流行が及ぼした修学旅行先の選定に係る影響や、全国的な物価高騰等、修学旅行を取り巻く環境に様々な変化が生じていることを踏まえ、沖縄修学旅行の回復および継続的な入込確保のための取り組みについて下記の通りご助言いただきました。

### ■日時および場所

主催：沖縄県・（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

日程：令和5年8月24日（木）午前10：30～11：30

場所：大手町サンケイプラザ 2階 201号室

（東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル）

参加者：（公財）全国修学旅行研究協会 理事長 岩瀬 正司

（敬称略）（公財）日本修学旅行協会 理事長 竹内 秀一

沖縄県文化観光スポーツ部 参事監兼観光政策統括監 川上 睦子

OCVB 会長 下地 芳郎



### 【課題1】物価高騰に伴う修学旅行旅費上限額の見直しの可能性について

現状：学校からは沖縄に行きたいという要望が上がっているものの、物価高騰により既存の上限額内での沖縄修学旅行手配が困難になっているという声があることから、修学旅行上限額の見直し要請を検討している。

### <以下、日修協・全修協からのコメント>

- ・公立高校においては管轄自治体毎で費用上限額を制定しているが、その金額の設定方法や決定者について調査をした上で検討したほうがよい。
- ・修学旅行実施基準にて、多くの地域の判断基準になっている「保護者の過重な負担を避ける」ことを考慮することが重要である。

- ・ 上限額を上げるといってもどの程度の上げ幅が妥当か、という判断も必要である。
- ・ 修学旅行は教育課程にも定められている必要な学習時間なので、修学旅行の本来の目的、学習効果を実現するためにその機会を担保できる実施規定にしてほしい、という内容を伝える方が理にかなっていると思われる。

### 【課題2】実施時期の平準化への誘導について

現状：沖縄への修学旅行は主に10-12月に集中しており、バスの予約が取りづらい、繁忙期の航空運賃の値上げ等で、学校側に負担がかかっていることから、修学旅行閑散期（1~2月、4~6月等）への誘導を行いたい。時期変更を検討いただくために効果的な取り組みへのアドバイスを伺いたい。

#### <以下、日修協・全修協からのコメント>

- ・ 東京都立高校は沖縄行きを希望する学校は自ずと航空運賃が下がる1~2月へ移ってきている。但し、その中でも2月の特定の週に予約が集中するため、希望日に行けないう学校が出てきている。
- ・ 特定の曜日（火曜日・水曜日出発）が混雑するため、曜日の平準化を促すことも必要では。
- ・ 現在は前半で平和学習、後半で観光・アクティビティを行うという旅程が定番化し、曜日や時間帯の偏りが出ている。旅程全体にストーリー性を持たせることで、訪問先の順番等を入れ替えて、混雑緩和を促す工夫も検討してはどうか。
- ・ 修学旅行先で学校交流を希望する声もあるため、（誘導したい時期に）現地の学校と交流できる機会があれば喜ばれると思う。

#### 【今後の取り組み（予定）】

今回の意見交換会でいただいた助言を踏まえ、以下の取り組みを検討してまいります。

- ・ 重点エリアでの修学旅行上限額および実施規定についての要請に向け、情報収集および分析を行う。
- ・ 修学旅行の平準化につながる効果的なSE運賃の設定の可能性について航空会社と意見交換の機会を設ける。
- ・ 多様な学びの視点を反映させた沖縄修学旅行中のプログラムの充実化及び旅程のバリエーション化を図る。

#### 【お問い合わせ先】

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 受入推進課

担当：屋宜

TEL:098-859-9129 FAX:098-859-6221

Mail:shuryo@ocvb.or.jp

令和5年8月25日（金）

## 「ハワイ マウイ島山火事」に対する支援金の募集について

去る8月8日（火）にハワイのマウイ島で発生した山火事により、多くの人的・物的被害が確認され、「過去100年余りで最悪の被害」と報道されております。

亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、そのご家族や被災された方々に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

これまで沖縄観光はハワイを参考に様々な取組について進めてきたこともあり、今回のことは、多くの観光関係者の皆様が心を痛めていることかと存じます。

このような状況を踏まえ、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎）では、1日も早いマウイ島の復旧に寄与したいと、OCVB 賛助会員及び県内観光業界を中心に、下記の通り「ハワイ マウイ島山火事に対する支援金」を募ることといたしました。

### 記

1. 支援金受付期間：令和5年8月25日（金）～12月29日（金）
2. 支援金依頼先：OCVB 賛助会員（約650社）、  
観光関連団体（沖縄ツーリズム産業団体協議会・観光協会等協議会）
3. 支援金額の目安：各社1万円以上
4. 支援金振込口座  
沖縄銀行 本店（101）（普） 2654863  
琉球銀行 本店（201）（普） 1326875  
沖縄海邦銀行 本店（002）（普） 932507

名義（共通）：ハワイマウイ島山火事に対する復興支援会 会長 下地 芳郎

集まった支援金はマウイ島の復興に役立てていただけるよう全額を寄付いたします。

#### 【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー  
総務部 総務・経理課

TEL：098-859-6124 FAX：098-859-6221